

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社を取り巻く市場環境は、国内においては、一部に弱さがみられたものの、総じて緩やかな回復基調で推移しました。海外においては、中国をはじめとしたアジア周辺国で減速感を強めつつ推移しました。

こうした中、第3四半期累計決算においては、売上高は為替換算差による減収影響に加え、中国市場向け半導体・パワーエレクトロニクス機器ならびに国内自販機の需要の減少を主要因として前年同期を下回ったものの、営業損益はコストダウン等の体質改善効果により前年同期を上回り、最高益を更新しました。

年明け以降、株安、原油安、地政学的な問題も加わり、先行き不透明感が増していますが、当社は、中期経営計画の最終年度である2015年度の経営計画の達成を目指し、あらゆるコストや業務プロセスをゼロベースで見直す「Pro-7活動」を強力に推し進め、社員一丸となって収益力の強化に取り組んでいます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

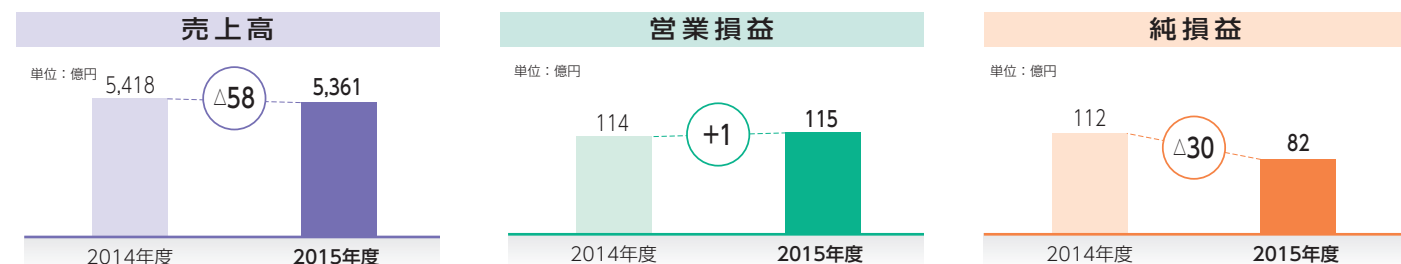
2016年2月

富士電機株式会社
代表取締役社長

北澤通彦



2015年度第3四半期累計決算（4月～12月）



セグメント別状況

セグメント	売上高		
	2014年度実績	2015年度実績	増減
発電・社会インフラ	998	1,066	68
産業インフラ	1,101	1,097	△4
パワーエレクトロニクス機器	1,412	1,452	40
電子デバイス	1,051	937	△114
食品流通	880	794	△86
その他	455	469	14
消去または全社	△477	△454	23
合計	5,418	5,361	△58

※2014年度第3四半期累計実績は、2015年度の事業組替を反映し、表示しています。

売上高 前年同期に比べ 58億円減収の5,361億円

売上高は、海外子会社の為替換算差による減収影響に加え、需要の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

セグメント別には、発電・社会インフラは、火力・地熱・水力発電設備における案件増加、およびスマートメータの増加により増収となりました。産業インフラは、国内の省エネ・更新需要は堅調に推移したものの、国内大口案件の減少等により減収となりました。パワーエレクトロニクス機器は、堅調な国内需要、鉄道車両用電機品の海外大口案件、および新規連結となった富士SMBEの影響により増収となりました。電子デバイスは、半導体における中国市場での需要の減少、および工作機械を中心とした国内主要顧客の需要の減少により減収となりました。食品流通は、自販機において中国市場での増加があったものの、国内での需要の減少、および店舗流通での冷凍・冷蔵設備の需要の減少により減収となりました。

営業損益 前年同期に比べ 1億円増益の115億円

営業損益は、売上高の減少による影響を、主にコストダウン、固定費削減等により打ち返し、前年同期に比べ増益となりました。

純損益 前年同期に比べ 30億円減益の82億円

純損益は、持分法適用会社であるメタウォーター（株）の上場に伴い、前年同期に計上した特別利益の影響により、減益となりました。

2015年度通期業績予想

期初発表（2015/4/27）と変更ありません。

	売上高	営業損益	純損益
2014年度（実績）	8,107	393	280
2015年度（予想）	8,500	450	290

※前掲為替レート 1ドル=115円、1ユーロ=125円

海外事業の拡大に向けた戦略投資

海外事業の拡大に向け、M&Aおよび設備投資を推進しており、直近で対外発表を行った案件についてご紹介します。

【ドイツ】燃料電池販売・エンジニアリング会社買収

低酸素環境による防火設備の導入が進むドイツにおいて、2009年度より協業関係にあり、燃料電池による防火システム特許の独占の実施権を持つN2telligence社を買収しました（2016年1月）。燃料電池は、天然ガス等の燃料を化学反応させて電気を創り出す装置ですが、発電時に発生する低酸素空気を活用した防火設備としても使用されています。

今回の買収により、ドイツをはじめとする欧州において燃料電池の売上拡大を図っていきます。



低酸素防火システムの燃料電池（ドイツ・ヴィスマール市）

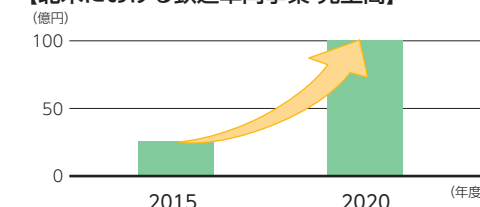
【北米】鉄道車両用ドア製造販売会社買収

北米における鉄道車両事業の拡大を狙いとして、同市場で多くの納入実績がある鉄道車両用ドア開閉装置の専門メーカーSEMEC社を買収しました（2016年2月）。当社は、ニューヨーク市交通局、ワシントン首都圏交通局向けなどにドア開閉装置の納入実績があります。この買収により、SEMEC社のドア開閉装置に当社の設計・生産技術力を付加し、製品力を強化するとともに、SEMEC社の販売チャンネル、エンジニアリング力、さらにニューヨークにある製造拠点を活用し、新規顧客開拓を含め、鉄道車両事業のさらなる拡大を図ります。



富士SEMEC社

【北米における鉄道車両事業 売上高】



【中国】自動販売機・生産能力増強の設備投資

中国では経済発展に伴う生活水準の向上により、消費者の嗜好の多様化、人件費の高騰などが進み、飲料の販売チャンネルとして自動販売機への注目が高まっています。工場やオフィスビル、大学、病院、さらに鉄道や空港などの公共施設を中心に自動販売機の設置場所が広がっています。

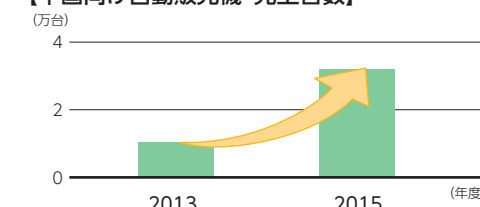
こうした中、当社は中国における自動販売機の販売サービスの専門会社を設立し、拡販に取り組んでいます。

この度、ものづくりにおいても、中国・大連にある製造拠点に、前年度比増となる年間5万台の生産体制を構築します（2016年2月）。今後、さらなる市場の伸長を視野に年間10万台体制の構築を検討し、自販機事業の拡大を図ります。



大連富士冰山自動販売機社

【中国向け自動販売機 売上台数】







会計基準の改正に伴い、従来の「当期純損益」は「親会社株主に帰属する当期純損益」へと表現が変わりましたが、本報告書においては「純損益」と表記しています。

本報告書の将来についての計画や戦略、業績見通しに関する記載は、作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づくものであり、実際の結果とは実質的に異なる可能性があります。当社はこれらの記載のうち、いかなる内容についても確実性を保証するものではありません。

経営方針説明会・工場視察会

株主の皆様とのコミュニケーション活動の一環として実施する経営方針説明会・工場視察会に今年度も多くの方々にご参加いただきました。当日は、経営方針の説明に加え、ものづくりの現場をご視察いただきました。視察会後のアンケートでは、多くの株主様よりご意見・ご感想を頂戴しました。今後も当社をより一層ご理解いただくための企画を継続して実施していきます。

川崎工場 11/16開催 130名参加  <p>“熟練の技”が光る火力・地熱発電の蒸気タービン、発電機などの生産現場や燃料電池などをご視察いただきました。</p>	山梨製作所 11/20開催 64名参加  <p>パワー半導体の生産現場に加え、エネルギーを自給自足する太陽光発電システム、燃料電池等を活用したコージェネレーションシステムをご視察いただきました。</p>	三重工場 11/27開催 82名参加  <p>自動販売機の製造・試験現場の視察に加え、歴代の自動販売機から最新の機械までをご視察いただきました。</p>	千葉工場 12/10開催 71名参加  <p>電力送電時のエネルギー損失を抑えるために電圧を昇降圧させる変圧器の製造工程をご視察いただきました。</p>
---	--	--	---

株主様のご意見・ご感想（一部抜粋）

【川崎工場視察会】

▶ 社長ご自身が直接、株主からの質問を受けたり、社員の皆様が自社の技術に誇りを持って、それを熱心に伝えようとする姿から、株主重視の姿勢を感じ取ることが出来ました。また、コンプライアンス重視の姿勢もわかり、改めて株主であり続けたことを良かったと思っています。

【山梨製作所視察会】

▶ パワー半導体の生産は少人数で行われているように感じました。そのための工夫を随分されているのであろうと想像しますが、そうした工夫の苦労話を話していただければより理解が深まるかと思えます。

【三重工場視察会】

▶ 工場視察会では、多くの人に対応していただき、丁寧な説明と適切な案内をしていただいたことに感謝いたします。富士電機の経営方針、自動販売機の製造工程、製品の試験方法、稼働状況などが良く理解できました。また日本での「ものづくり」の大切さを感じました。今後も三重工場の発展を期待いたします。



経営方針説明会（川崎工場視察会）

【千葉工場視察会】

▶ 株主に対するIR活動の一環として、工場視察会などを継続実施し、多くの個人株主が企業に対する理解を深める場を設定していただきたいと思います。一般個人株主は私同様「富士電機」の企業内容をよく知らない人が多いと思います。工場視察会は「百聞は一見にしかず」で企業イメージを一変させる力があります。他の株主のためにも今後の継続実施を希望いたします。

IR担当より 経営方針説明会・工場視察会に対し、数多くのご感想・ご指摘、ありがとうございます。当視察会においては、毎年多くの株主様からのご応募をいただいております。応募状況を踏まえ、これまでも開催回数を増やしてきております。いただいたご意見を今後の視察会に活かしていきたいと考えます。一層のご支援をお願いいたします。

Jリーグ&プロ野球試合観戦ご招待

昨年に引き続き、当社が協賛する「ジェフユナイテッド市原・千葉」および「北海道日本ハムファイターズ」の試合観戦ご招待を実施いたします。参加を希望される株主様は、下記の方法によりご応募ください。なお、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

応募締切 2016年2月29日(月) (当日消印有効)

ご招待試合

■ジェフユナイテッド市原・千葉 サッカー試合



富士電機は2007年よりオフィシャルパートナーとして協賛しています。

開催日	対戦相手	場所/座席	募集人数
2016年4月17日(日) (午後4時キックオフ予定)	vs FC町田ゼルビア	【千葉県】 フクダ電子アリーナ JR「蘇我駅」より 徒歩約8分 指定席	20組40名様
2016年5月3日(火・祝) (午後4時キックオフ予定)	vs カマタマーレ讃岐		20組40名様
2016年6月12日(日) (午後4時キックオフ予定)	vs 東京ヴェルディ		20組40名様
2016年6月26日(日) (午後6時キックオフ予定)	vs ギラヴァンツ北九州		20組40名様

■北海道日本ハムファイターズ 野球試合



富士電機は2013年よりスポンサーとして協賛しています。

開催日	対戦相手	場所/座席	募集人数
2016年7月22日(金) (午後6時プレーボール予定)	vs オリックス・バファローズ	【北海道】 札幌ドーム 地下鉄東豊線「福住駅」より 徒歩約10分 指定席	20組40名様

応募方法

郵便はがきに右記の通り必要事項をご記入の上、ご投函ください。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本企画を実施する上で必要な限りにおいて使用いたします。

郵便はがき
当日消印有効
〒141-0032
東京都品川区
大崎1-11-2
富士電機(株)
社長室広報IR部
IR担当 行

- 開催日
- 対戦相手
- 氏名(ふりがな)
- 年齢
- 住所
- 電話番号

必ず希望される「開催日」「対戦相手」を記載願います。

対象者

当社株式をご所有の株主の皆様と同伴者(1名)

抽選結果

ご応募いただいた方全員に郵送にてご連絡いたします。

その他

試合会場までの往復交通費は各自のご負担でお願いいたします。